

J-DAVID News

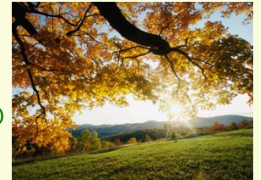


Japan Dialysis Active Vitamin D Research Group



秋深し、隣は何をする人ぞ。興味本位ではなく、周囲の人への思いやりの気持ちを大切にしたいですね。さて、J-DAVID Newsの第2号をお届け

いたします。両面ありますので、裏にも目をお通し下さいね。バックナンバーはJ-DAVIDのホームページにあります。



世話人からのメッセージ

「ビタミンDの目指すところ」

平方 秀樹 先生（福岡赤十字病院）

卒業して、これまで30数年、臨床を中心に努めてきた。腎臓を志すきっかけはアメリカ帰りの藤見先生の名講義に惹かれた結果。腎研に入って最初にやった研究(のお手伝い)が活性型ビタミンDの二重盲検試験で、1週間ごとにプラセボ群の患者と実薬群の患者への薬の袋入れ作業だった。そのころ、その試験を担当していた先輩が「これでtrade-off仮説を証明できて二次性副甲状腺機能亢進症の一つは解決」と話していたのを思い出す。

これまで、臨床をがらっと変えると予感させた薬剤はアルファロール、カプトプリル、そして、エボジンの3つ。レニン抑制薬が出るかと思っていたら変換酵素の阻害薬が先に出て血圧は見事に下がり、しばらくしてRA系の亢進がない糖尿病でも有効で、1993年、Lewis研究が出て、RA系抑制薬が腎障害進展抑制に有効であることが腎炎よりも先に糖尿病性腎症で証明された。そしてARBの時代が変わった。エボジン、エリスロポエチンの薬。カプトプリルが透析患者の貧血を増悪させることに気付いて発表していた時に、いつもエリスロポエチンとRA系の関係が気になり、いつかエリスロポエチンを測定したいと思っていた。

そんな希望を超えてエリスロポエチンが薬になった。

アルファロールはカルシウムを上げC末端PTHを下げた。患者の骨痛は軽減し、中には痒みの改善もみられた。ところがリンもあがり、毎月撮っていた胸写上の大動脈弓の石灰化とシャント吻合部の石灰化が増えていった。そして、アルミゲルが禁止になった。一日9gも投与していたのに・・・リンの管理が難しくなり、居直ったようにアルミゲルの処方はずっと続けた。研究室に入って5年目、初めて副甲状腺摘出術をセットアップした。理髪店の主人、指末端がclubbed finger。ハリソン内科学を開いたら心臓病と二次性副甲状腺機能亢進症が鑑別にあがっていた。副甲状腺摘出術例は増えて行き、摘出腺は保存され、約20年後、教室の徳本君の仕事に役に立った。このころの症例を集めたデータが2004年、世に出た。庄司先生の研究である。アルファロール服用例の心血管予後が良好ということ。二次性副甲状腺機能亢進症の話から生命予後に転換してきた。やっと本題の研究が視野に入ってきた。しかし、これは観察研究ということで批判あり。是非ともRCTが必要となった。J-DAVIDを進めよう！



最近の文献から

NHANES3における血中25(OH)D濃度と上気道感染の関連

Association between serum 25-hydroxyvitamin D level and upper respiratory tract infection in the Third National Health and Nutrition Examination Survey.

Ginde AA, Mansbach JM, Camargo CA, Jr. Arch Intern Med 169: 384-90, 2009

【ポイント】米国の第三次国民健康栄養調査(NHANES3)に参加した12歳以上の18,883人を対象に、血中25(OH)D濃度と最近の上気道感染の関連を調べたところ、25(OH)D濃度が低い群で上気道感染のリスクが有意に高かった。

最新進捗状況

現在、全国での症例登録数は316例となりました。
累計登録数のランキング・進捗状況等を報告致します。(10月19日現在)

各地区登録進捗

地区	施設数	累計登録数	前月登録数	今月登録数
北海道	8	32	8	0
山形	3	0	0	0
宮城	5	2	0	1
東京	5	0	0	0
栃木	1	0	0	0
茨城・千葉	16	0	0	0
神奈川	2	12	0	0
愛知	17	2	0	0
大阪	35	156	0	18
奈良・和歌山	2	23	0	0
京都	3	47	0	0
広島	4	14	0	0
島根	7	0	0	0
徳島	2	0	0	0
高知	3	2	0	0
愛媛	1	18	0	0
福岡	5	5	0	0
沖縄	6	3	0	0
合計	125	316	8	19

累計登録数ランキングTOP10

順位	施設名	登録件数
①	井上病院／大阪	55
②	桃仁会病院／京都	47
③	翠悠会診療所／奈良・和歌山	23
④	佐藤循環器内科／愛媛	18
⑤	大野記念病院／大阪	15
⑥	小野内科／大阪	14
⑥	大町土谷クリニック／広島	14
⑧	湘南鎌倉総合病院／神奈川	12
⑨	札幌北クリニック／北海道	10
⑨	小尾クリニック／大阪	10

症例報告書回収状況報告

登録	観察開始時	3ヵ月後	6ヵ月後
316	132	109	81

J-DAVID事務局からお知らせ



ポケットマニュアルについて

J-DAVID試験に関する、選択基準、除外基準などプロトコールの概要をまとめた、「ポケットマニュアル」を作成いたしました。白衣のポケットに入りますので、是非ご活用ください。

ご登録に際するお願い

確実に書類等をお届けするために、ご登録頂いている先生以外に実務御担当医がいいらっしゃる場合は、J-DAVID事務局にご連絡頂けますよう宜しくお願い致します。

また、症例登録後、こちらから登録結果をFAX送信致しますので、2～3日中に用紙が届かない場合は恐れ入りますが、事務局までご連絡頂けますよう宜しくお願い致します。

なお、FAX送信の際に、受信確認のお電話を致しますのでご了承下さい。

編集・発行：J-DAVID研究会事務局
〒545-8585大阪市阿倍野区旭町1-4-3
大阪市立大学大学院医学研究科
代謝内分泌病態内科学 内
電話 06-6645-3806 FAX 06-6645-3808
データセンター
電話・FAX 06-6646-3105

ホームページもご覧下さい。
<http://j-david.info/>